



8月、9月のテーマ
出動! 国際緊急援助隊

1時間目	どんな仕事があるの?
2時間目	準備完了、さあ出発!
3時間目	隊員の持ち物見せて!
4時間目	スマトラ沖大地震・インド洋津波

今から三年前、インドネシアのスマトラ沖で大きな地震があったのを覚えていますか? 沿岸の国々に津波がおしよせ、多くの命が失われました。このときも、国際緊急援助隊は被災地に向けて出動しました。

地震発生
そのとき日本では二〇〇四年十二月二十六日午前、インドネシアのスマトラ沖で、マグニチュード

波が発生しました。東京にある国際緊急援助隊事務局では、現地での事務所やインターネットなどから被害の情報を集めました。最終的に二十二万人を超える死者・行方不明

者が出た大災害です。地震直後のこの時点でも相当な被害が予想されました。その日の夕方には、まずスリランカへ医療チームが派遣され

ることが決まりました。各国から続々と支援要請その後、被害を受けた各国から支援の要請が日本政府に届きました。インドネシア、モルディブ、タイにも医療チーム、救助チームの隊員が向かいました。さらに家族や家を失った人々に心のケアをする専門家チーム、医療活動を行う自衛隊部隊も派遣

約1900人の日本人が救援活動



タイ
死者 8345人
派遣された国際緊急援助隊員
医療チーム 22人
救助チーム 81人
専門家チーム 14人
自衛隊部隊 591人



インドネシア
死者 16万5708人
派遣された国際緊急援助隊員
医療チーム 61人
自衛隊部隊 1036人

スマトラ沖大地震の被害と国際緊急援助隊の活動



約百四十人の医療チーム
医療チームは四か国で約百四十人の医師や看護師が、地震や津波でけがをした人や、その後のテント生活で体調が悪くなった人々を診察。四つの国で診療した患者は、約六千七百人にのぼりました。

聞いてみよう
上の地図の①、②の国のうち、国際緊急援助隊が活動したスリランカ、タイ、インドネシア、モルディブはどこか調べてみましょう。



ているお医者さん、看護師さん、医療関係者が七百人以上います。福岡県のお医者さん、福岡護国学院も、ボランティア登録をしている一人。海外で災害が起きたら、被災者のために

とにかくつきます。これまでに、国際緊急援助隊のメンバーとしてマレーシアやエルサルバドル、アルジェリア、インドネシアで活動しました。

福岡先生は小学生だった一九六八年、九州南部をおそった

えびの地震で被災。このときの経験がきっかけで、海外の被災者に手をさしのべたいと思ったそうです。「世界中どこでも、どんな状況でも、困った人を助けたい。いつもそう思っています」と福岡先生は話しています。